

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人 山内学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	ファッションデザイン専攻科	夜・通信	3245 時間	240 時間	
	ファッションデザイン科	夜・通信	2115 時間	160 時間	
	ファッションテクニカル科	夜・通信	1985 時間	160 時間	
	ファッションビジネス科 ショッピングプランニングコース	夜・通信	1540 時間	160 時間	
	ファッションビジネス科 ファッションコーディネートコース	夜・通信	1610 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバス設置（教室・職員室・事務室） HP 掲載（公開資料 <a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a> ）
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人 山内学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医師・病院名誉院長	令和4年4月1日～令和8年3月31日	ガバナンス強化
非常勤	会社経営	令和4年4月1日～令和8年3月31日	財務改善の助言
非常勤	弁護士	令和4年4月1日～令和8年3月31日	コンプライアンス体制の整備
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人 山内学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a></p> <p>11月に教務担当者から全教職員に雛形を提示。教育課程編成委員会への進言を元に骨子を各学科毎に検討し、シラバスを再検討する。</p> <p>12月より各学科毎に授業担当者に、新年度シラバス原稿の依頼。</p> <p>1月下旬～2月上旬にかけ、シラバス提出。</p> <p>全体の方向性を校長に許可をもらう。</p> <p>3月にチェック、修正、製本。 4月学生公開。</p> <p>5月に本校WEBサイトにて公表。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の進級・卒業の認定および評価、定期試験の受験資格は学生要覧に記載。また入学後のオリエンテーションでも説明。</p> <p>各学生の学習成果に基づき、秀(90点以上)、優(80～89点)、良(70～79点)、可(60～69点)、不可(59点以下)の評価を用いて適正に成績授与している。また、シラバスにおいても成績評価方法の欄を設け、評価のウェイトを予め明示している。</p> <p>基本的に留年を良しとしていないが、仮に点数が満たされていない場合は、追試、補講や補習を行い、満たされた時点で進級・卒業会議に再度かけ、本人の意向と学校の基準を照らし合わせて、進級・卒業か留年かを判断している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に判定材料となる、学生毎の全教科の成績合計値と平均値を挙げ、クラスの成績順位を出し、システムで管理している。</p>	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  全ての学科において学科の教育目標を設定している。  また、卒業の認定にあたっては、全ての学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。  &lt;卒業要領：学生要覧に記載&gt;  ①授業料を納付している  ②シラバスに指定されている規定の課題が提出されている  ③前後期とも2/3以上出席していること  ④シラバスで開示されている受験科目の定期試験を受験し、不可を取っていないこと。(追再試で合格すれば可)  ⑤ ①～④の条件を全て満たしていて、卒業判定会議にて卒業に値すると判断された場合。</p> <p>成績基準：Ⅰ実習点、Ⅱ出席点、Ⅲ課題点、Ⅳ前後期試験点</p>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人山内学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
財産目録	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
事業報告書	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専攻課程	ファッションデザイン専攻科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3, 300 単位時間/単位	1117 単位時間 /単位	972 単位時間 /単位	1211 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			3, 300 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		115人	0人	5人	5人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月に教務担当者から全教職員に雛形を提示。教育課程編成委員会への助言を元に骨子を各学科ごとに検討し、シラバスを再検討する。次年度シラバスを作成し、チェック、修正、製本。4月学生公開。5月HP公表。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に判定材料となる、成績合計値と平均値を挙げ、クラスの成績順位を出し、システムで管理している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において学科の教育目標を設定している。 また、卒業の認定にあたっては、全ての学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談・就職指導に関しては、クラス担任と個別に定期的に面談を行う。キャリアコンサルタントも常駐。専門的な指導が必要な場合、1回/月でスクールカウンセラーによる対応も可。その他補習授業や個別指導なども随時実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	1人 ( 5.3%)	11人 ( 57.9%)	7人 ( 36.8%)
（主な就職、業界等） アパレル製造業、アパレル企画、卸、小売業、サービス業 等			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接およびグループディスカッション対策 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定等			
（備考）（任意記載事項） ・ファッションデザイン専攻科3年へ3名進学/1名休学			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個人・保護者との面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング 等		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専攻課程	ファッションデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 230 単位時間/単位	415 単位時間 /単位	500 単位時間 /単位	1315 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2, 230 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		50人	1人	3人	4人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）【様式第2号の3より再掲】11月に教務担当者から全教職員に雛形を提示。教育課程編成委員会への助言を元に骨子を各学科ごとに検討し、シラバスを再検討する。次年度シラバスを作成し、チェック、修正、製本。4月学生公開。5月HP公表。

成績評価の基準・方法

（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に判定材料となる、成績合計値と平均値を挙げ、クラスの成績順位を出し、システムで管理している。GPAを利用予定。

卒業・進級の認定基準

（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において学科の教育目標を設定している。  
また、卒業の認定にあたっては、全ての学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。

学修支援等

（概要）学生相談・就職指導に関しては、クラス担任と個別に定期的に面談を行う。キャリアコンサルタントも常駐。専門的な指導が必要な場合、1回/月でスクールカウンセラーによる対応も可。その他補習授業や個別指導なども随時実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	2人 ( 9.1%)	16人 ( 72.7%)	4人 ( 18.2%)
<p>(主な就職、業界等) アパレル製造業、アパレル企画、卸、小売業、サービス業 等</p>			
<p>(就職指導内容) 履歴書添削指導、面接およびグループディスカッション対策 等</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等)) パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定等</p>			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	11 人	33.3%
(中途退学の主な理由) ・一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人・保護者との面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング 等		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
服飾・家政		服飾専攻課程	ファッションテクニカル科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
	昼		講義	演習	実習	実験
2年	昼	2, 010 単位時間/単位	631 単位時間 /単位	453 単位時間 /単位	926 単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2, 010 単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人		63人	0人	3人	3人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月に教務担当者から全教職員に雛形を提示。教育課程編成委員会への助言を元に骨子を各学科ごとに検討し、シラバスを再検討する。次年度シラバスを作成し、チェック、修正、製本。4月学生公開。5月HP公表。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に判定材料となる、成績合計値と平均値を挙げ、クラスの成績順位を出し、システムで管理している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において学科の教育目標を設定している。 また、卒業の認定にあたっては、全ての学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談・就職指導に関しては、クラス担任と個別に定期的に面談を行う。キャリアコンサルタントも常駐。専門的な指導が必要な場合、1回/月でスクールカウンセラーによる対応も可。その他補習授業や個別指導なども随時実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	2人 ( 6.1%)	29人 ( 87.9%)	2人 ( 6.1%)
(主な就職、業界等) アパレル製造業、アパレル企画、卸、小売業、サービス業 等			
(就職指導内容) 履歴書添削指導、面接およびグループディスカッション対策 等			
(主な学修成果(資格・検定等)) パターンメイキング技術検定、ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定等			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	8人	19.5%
(中途退学の主な理由) ・一身上の都合/進路変更/療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人・保護者との面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング 等		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専攻課程	ファッションビジネス科 ショッププランニングコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間/単位	867 単位時間 /単位	378 単位時間 /単位	795 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,040 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		14人	0人	3人	10人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）【様式第2号の3より再掲】11月に教務担当者から全教職員に雛形を提示。教育課程編成委員会への助言を元に骨子を各学科ごとに検討し、シラバスを再検討する。次年度シラバスを作成し、チェック、修正、製本。4月学生公開。5月HP公表。
成績評価の基準・方法
（概要）【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に判定材料となる、成績合計値と平均値を挙げ、クラスの成績順位を出し、システムで管理している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
（概要）【様式第2号の3より再掲】全ての学科において学科の教育目標を設定している。 また、卒業の認定にあたっては、全ての学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。
学修支援等
（概要）学生相談・就職指導に関しては、クラス担任と個別に定期的に面談を行う。キャリアコンサルタントも常駐。専門的な指導が必要な場合、1回/月でスクールカウンセラーによる対応も可。その他補習授業や個別指導なども随時実施。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	0人 (0%)	7人 (77.8%)	2人 (22.2%)
（主な就職、業界等） アパレル小売業 等			
（就職指導内容） 履歴書添削指導、面接およびグループディスカッション対策 等			
（主な学修成果（資格・検定等）） ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定、ファッションビジネス検定等			

(備考) (任意記載事項)

2年次はショッププランニングコースかファッションコーディネートコースを選択しコース別の授業となる。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	10 人	25.6%
(中途退学の主な理由) ・一身上の都合/進路変更/留学/療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人・保護者との面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング 等		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専攻課程	ファッションビジネス科 ファッションコーディネートコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2,040 単位時間/単位	779 単位時間 /単位	490 単位時間 /単位	771 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,040単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人の内数		8人	0人	3人	10人	13人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 【様式第2号の3より再掲】11月に教務担当者から全教職員に雛形を提示。教育課程編成委員会への助言を元に骨子を各学科ごとに検討し、シラバスを再検討する。次年度シラバスを作成し、チェック、修正、製本。4月学生公開。5月HP公表。
成績評価の基準・方法
(概要) 【様式第2号の3より再掲】客観的な指標として、進級・卒業判定会議の際に判定材料となる、成績合計値と平均値を挙げ、クラスの成績順位を出し、システムで管理している。GPAを利用予定。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【様式第2号の3より再掲】全ての学科において学科の教育目標を設定している。 また、卒業の認定にあたっては、全ての学科において卒業要領が設定され、卒業判定会議を経て卒業を認定している。
学修支援等
(概要) 学生相談・就職指導に関しては、クラス担任と個別に定期的に面談を行う。キャリアコンサルタントも常駐。専門的な指導が必要な場合、1回/月でスクールカウンセラーによる対応も可。その他補習授業や個別指導なども随時実施。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	1人 (5.3%)	15人 (78.9%)	3人 (15.8%)
(主な就職、業界等) アパレル小売業 等			
(就職指導内容) 履歴書添削指導、面接およびグループディスカッション対策 等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) ファッション色彩能力検定、ファッション販売能力検定、ファッションビジネス検定等			

(備考) (任意記載事項)

2年次はショッププランニングコースかファッションコーディネートコースを選択しコース別の授業となる。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	10人	25.6%
(中途退学の主な理由) ・合一身上の都合/進路変更/留学/療養		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個人・保護者との面談、スクールカウンセラーによるカウンセリング 等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション デザイン 専攻科	200,000 円	540,000 円	396,056 円	施設費:90,000 円 預り金 16,000 円 実習費:123,000 教材費:167,056
ファッション デザイン科	200,000 円	540,000 円	379,600 円	施設費:90,000 円 預り金 17,000 円 実習費:122,000 教材費:150,600
ファッション テクニカル科	200,000 円	540,000 円	382,010 円	施設費:90,000 円 預り金 17,000 円 実習費:120,000 教材費:155,010
ファッション ビジネス科	200,000 円	540,000 円	308,564 円	施設費:90,000 円 預り金 17,000 円 実習費:102,000 教材費:99,564
修学支援 (任意記載事項)				
香蘭ファッションデザイン専門学校高校生奨学生試験制度、授業料減免制度、厚生労働省教育訓練給付金、パル井上財団奨学金、その他日本学生支援機構制度など				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
例年、学校関係者評価委員会は 11 月に実施し、昨年度の反省と今年度の報告を実施。教育活動や学生支援等 8 項目について評価して頂いている。委員は、令和 5 年度で 11 名。評価委員の選出区分は、ファッション業界の全体を俯瞰して見る上で、団体の委員に 3 名入って頂いている。また、企業側から各専門分野での助言のために 4 人、被服系高校家庭科教諭、保護者各 1 人ずつ卒業生 2 名の合計 11 名で構成している。評価の改善内容を次年度に活かしている。改善方策については、学校長が実施責任者として各 4 学科主任会議や各科会議を経て 12 月までに立案し実施している。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
社団法人日本洋裁協会	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	団体
協同組合オロシアン FUKUOKA	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	団体
一般社団法人日本パレル・ファッション産業協会 福岡支部	令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月	団体

小竹正株式会社	令和5年4月～令和6年3月	企業
アトウエンチャホールディングス株式会社	令和5年4月～令和6年3月	企業
株式会社ニッシン	令和5年4月～令和6年3月	企業
株式会社 BE THE ONE	令和5年4月～令和6年3月	企業
福岡県立 香椎高等学校	令和5年4月～令和6年3月	高等学校
香蘭ファッションデザイン専門学校 卒業生	令和5年4月～令和6年3月	卒業生
香蘭ファッションデザイン専門学校 卒業生	令和5年4月～令和6年3月	卒業生
香蘭ファッションデザイン専門学校 在校生保護者	令和5年4月～令和6年3月	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://koran.jp/about/public_material/">https://koran.jp/about/public_material/</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://koran.jp">https://koran.jp</a> 、学生要覧、パンフレット、募集要項、シラバス
---

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H140313000500
学校名	香蘭ファッションデザイン専門学校
設置者名	学校法人 山内学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		70人	64人	134人
内訳	第Ⅰ区分	40人	34人	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				134人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	—	—	—
計	—	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）				
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	—	0人	—
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	—	—	—
計	13人	—	13人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。